

人・地域・自然が輝く交流都市 まちづくり第2章スタート



新しい年度が始まります。可知市長は2月25日に開かれたことしの第1回市議会定例会で、第2次総合計画の初年度に当たる本年度の施政方針を述べ、どのような考えで市政を進めていくのかを明らかにしました。ここでは、その内容について紹介します。

新たな総合計画に基づく まちづくりがスタート

本市は、平成16年に六つの市町村が合併し、市の一体感の醸成と、新市の基盤づくりに重点を置いて、まちづくりの基礎を築いてきました。

この間に多くの方々の協力を得ながら、郷土の先人佐藤一斎翁の「三学の精神」を理念とした生涯学習都市「三学のまち恵那」宣言や、市民一人一人が健やかで幸せに暮らす「健幸都市えな」宣言をし、かねてからの悲願でありました市立恵那病院建設の着工など諸施策を着実に進めてきました。



▲11月開院を目指して工事が進む市立恵那病院

境を充実し、自然災害に備えていきます。

また今定例会に提案している「恵那市中小企業・小規模企業振興条例」や「恵那市本社機能移転促進条例」で市内企業の振興と企業誘致を図り、市と企業などとの協力の下、雇用の拡充に努めるなど具体的な施策を推進していきます。

さらに、リニア中央新幹線開業を見据えた道路網整備や住宅整備などを積極的に進めます。

これらは、本市と市民・地域・企業が一体となり施策推進の歩みを共に進めていくことで初めて成し得る

ものです。

オール恵那市一丸で 行財政改革に取り組み

行財政改革大綱では、本市の課題解決に向け「オール恵那市」の考え方を基本とし、私ども市役所は、地域自治区をはじめ市民の皆様と連携・協力を進め、一丸となって取り組んでいく所存です。

市の未来を担う子どもたちを恵那市全体で育むため、しっかりと将来を見据え、地域と市民の皆様との連携により、諸課題に対して果敢に挑戦していきます。

また平成39年に開業予定のリニア中央新幹線の岐阜県駅決定を受け、本市としても「リニアまちづくり計画」を策定し、リニア効果を最大限活用できるよう準備を進めているところですが、

本年は第2次恵那市総合計画の初年度であり「人・地域・自然が輝く交流都市」を誇り・愛着を持ち住み続けるまちを「新生恵那市」として再スタートします。

優先課題は人口減少対策と 市（財政）の存続

第2次総合計画では「人口減少対策」と「市（財政）の存続」を優先する視点とし、地域が存続するため

「小学校入学児童数450人」を目標に掲げた取り組みがスタートします。

若者や子育て世代に焦点を合わせ、この恵那の地で働き定住していただけるよう、諸施策を重点的に行っていきます。

とりわけ、子育て世代の移住・定住を促す施策や子どもを安心して産み育てられる環境を実現する施策を積極的に展開していきます。

本年度から、新婚の方や親世帯と同居や近居などをする特定の方を対象に、本市ならではの祝いや応援をしていきます。小中学校では、武並小学校の屋内運動場の改築や上矢作小学校ほか6校で屋内運動場の非構造部材の耐震工事を行い、教育環



▲市議会定例会で施政方針を説明する可知市長

一般会計280億5千万円

昨年度より2.7%増額

平成28年度の市の予算が決まりました。本年度は第2次総合計画と第3次行財政改革行動計画の初年度に当たり、目指す将来像「人・地域・自然が輝く交流都市～誇り・愛着を持ち住み続けるまち～」の実現に向けて、必要な施策・事業を着実に推進していく年となります。

「人口減少対策」と「市（財政）の存続」を念頭に、「子育て世代の定住・移住を促す施策」、「子どもを安心して育てる施策」に重点を置き、予算を編成しました。

□問い合わせ 財務課財政係 ☎26-2111（内線436）



改修予定の笠置コミュニティセンター

方交付税は、合併算定替の縮減などを受け普通交付税で3億8000万円の減額を見込んでいます。また合併後の新しいまちづくりを推進するために活用する合併特例債は、18億5930万円を計上しています。

「第2次総」将来像実現に向け

歳出では、第2次総合計画における将来像の実現を目指すとともに、住民が安心して暮らせる市の実現に向けた経費を計上しました。

主なものとして、移住・定住関連では、結婚時にお祝い品10万円分を



市全体では約38億円の増額

予算規模は、前年度と比較して一般会計で7億4000万円（2.7%）の増額、特別会計では9億2460万円（5.6%）の減額、企業会計では39億9440万円（41.1%）の増額となり全会計の合計で38億980万円（7.1%）の増額となりました。

増額の主な要因は、一般会計から恵那病院再整備事業に23億5072万円出資すること、企業会計の病院事業会計で再整備事業費57億370万円を計上したことと、

市税は昨年度比0.4%の減

一般会計の歳入では、固定資産税は新築・増築家屋の増加により前年度比1.4%の増、個人市民税は納税義務者数の減少により1.2%の減、法人市民税では10.5%の減など市税全体では、3090万円（0.4%）の減額を見込んでいます。地

贈る事業、新婚世帯への家賃補助事業、住宅用土地購入費の補助事業、親と同居または近隣に住宅を建てる場合の住宅取得費の補助事業などに取り組めます。

医療福祉関連では、平成26年度から再整備を進めてきた市立恵那病院が11月に開院します。また引き続き中学校卒業までの子どもにかかる医療費を助成していきます。

雇用・産業振興関連では、進出企業への奨励金交付事業、長島町正家地内の土地区画整理事業、恵那西工業団地の整備を推進します。

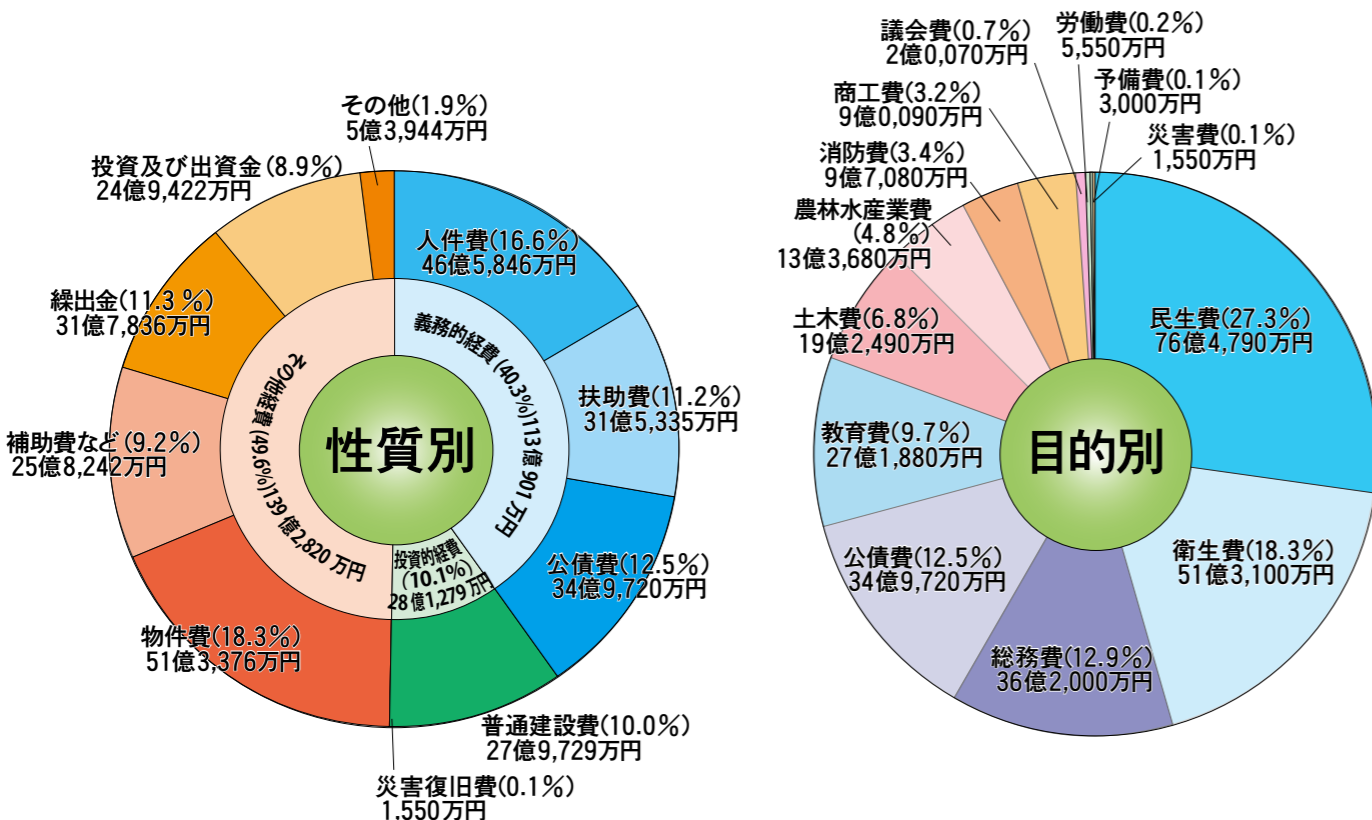
地域教育関連では、笠置、岩村、申原のコミュニティセンターの改修工事を行い、生涯学習とまちづくり活動の拠点づくりを進めていきます。

リニア関連では、市街地幹線道路の概略設計を行っていきます。

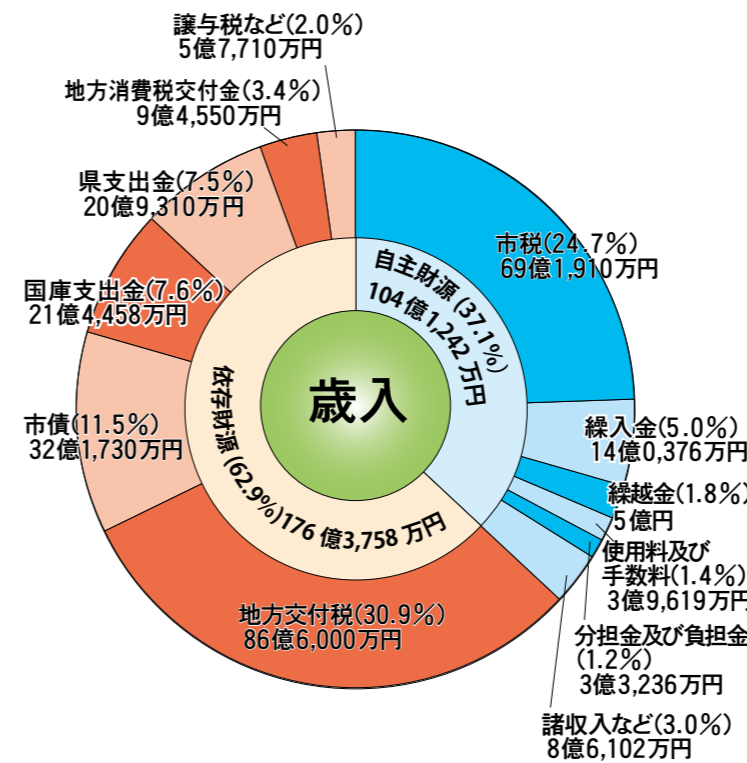
恵那病院の再整備事業費を計上

特別会計では、介護保険特別会計（事業勘定）で保険給付費の上昇により増額となりました。簡易水道事業特別会計では、平成28年度をもって岩村統合簡易水道事業と木の実地区水道未普及地域解消事業が終了することから減額。公共下水道事業特別会計では、市浄化センターの汚泥処理施設の長寿命化事業と管理棟の耐震工事の完了により減額となりま

一般会計歳出



一般会計歳入



平成28年度会計別予算額

| 会計 | 予算額 | 増減率 |
|---------------|--------------------------------------|-----------------|
| 一般会計 | 280億5,000万円 | 2.7% |
| 特別会計 | 156億8,790万円 | △5.6% |
| 国民健康保険事業特別会計 | 65億1,720万円 | △0.5% |
| 介護保険特別会計 | 58億7,530万円 | 4.1% |
| 簡易水道事業特別会計 | 8億8,560万円 | △29.8% |
| 農業集落排水事業特別会計 | 2億1,760万円 | 2.9% |
| 公共下水道事業特別会計 | 15億3,420万円 | △33.2% |
| 遠山財産区特別会計 | 30万円 | 0.0% |
| 上財産区特別会計 | 90万円 | 0.0% |
| 後期高齢者医療特別会計 | 6億5,680万円 | 2.2% |
| 企業会計 | 137億0,340万円 | 41.1% |
| 水道事業会計 | 収益的支出 9億0,520万円 資本的支出 12億6,330万円 | △1.3% 236.5% |
| 病院事業会計 | 収益的支出 41億5,470万円 資本的支出 60億8,220万円 | 1.6% 139.8% |
| 介護老人保健施設事業会計 | 収益的支出 5億2,730万円 資本的支出 3,780万円 | 3.6% △24.1% |
| 国民健康保険診療所事業会計 | 収益的支出 7億1,440万円 資本的支出 1,850万円 | △3.1% △31.7% |
| 介護老人福祉施設事業会計 | 収益的支出 - 資本的支出 - | 皆減 皆減 |
| 予算総額 | 574億4,130万円 | 7.1% |



▲放課後の子どもの居場所づくりを推進

放課後の居場所づくりと
地元で働ける環境を整備
子育てについては総合的な相談支

安心して暮らす

第2次総合計画の 基本目標別に見る 主な事業



した。
企業会計では、水道事業会計にお
いて基幹管路の老朽管更新を進めま
す。病院事業会計においては市立恵
那病院の再整備事業費を計上してい
ます。
自主財源は37%、依存財源は63%
市税収入や分担金・負担金、使用
料・手数料や繰入金などを合わせた
自主財源は37・1割、地方交付税や
地方債、国県支出金などの依存財源
は、62・9割となっています。
市税収入は、固定資産税で前年
度比1・4割の増、個人市民税で
1・2割の減、法人市民税で10・5
割の減を見込んでいるほか、軽自
動車税では12・2割の増、市たばこ
税が1・2割の減、入湯税が5・7
割の減など市税全体で0・4割減の
69億1910万円を見込んでいま
す。地方交付税は、普通交付税の合
併代替の段階的な縮減2年目であ
り3割縮減されること、国勢調査の
結果により人口が減少していること
から4・2割減の86億6000万円
を見込んでいます。
国庫支出金は、臨時福祉給付金事
業が拡大され増額となるなど13・4
割の増加。繰入金は、恵那病院再整
備事業への出資金の原資となる病
院施設等整備基金からの取崩額が
2億6359万円減少したことによ

安心して暮らすための主な事業

| 事業の名称 | 予算額 |
|---------------|----------------------|
| 子どもらの福祉医療費を助成 | 6億1,372万円 |
| 放課後児童対策 | 1億0,686万円 27年度前倒し |
| 子ども・子育て支援 | 819万円 |
| こども園の管理運営 | 11億8,291万円 |
| こども園の建設 | 6,202万円 |
| 産科の推進 | 27年度前倒し4,000万円 |
| 労働対策 | 5,550万円 |
| 企業誘致の推進 | 1億5,213万円 |
| がん検診 | 3,405万円 |
| 健幸まちづくり | 735万円 |
| 保健推進 | 1,402万円 |
| 高齢者の活躍を支援 | 2,715万円 |
| 高齢者などの生活を支援 | 2,483万円 |
| 高齢者地域支援 | 1億9,800万円 |
| 生活困窮者の自立を支援 | 2,043万円 |

生命と財産を守るための主な事業

| 事業の名称 | 予算額 |
|---------------------|------------|
| 応急手当の普及啓発 | 1,134万円 |
| 市立恵那病院残施設の利活用(企業会計) | 5,800万円 |
| 市立恵那病院の再整備(企業会計) | 57億0,370万円 |
| 防犯まちづくり事業 | 573万円 |
| 防災推進事業 | 5,395万円 |
| 地域防災力の向上 | 687万円 |
| 空き家の解消、空き家対策 | 479万円 |
| 非常備消防施設の整備 | 6,014万円 |

まちの魅力を高めるための主な事業

| 事業の名称 | 予算額 |
|--------------|-----------|
| 森林の保全促進 | 8,078万円 |
| 地籍調査の推進 | 1億1,546万円 |
| 土地区画整理事業 | 2,222万円 |
| 歴史まちづくり事業 | 1,016万円 |
| 伝統芸能の保存継承 | 788万円 |
| 文化財の調査と保存、活用 | 1億4,575万円 |

援窓口「えなっ宝ほっとステーション」を設置するとともに、子どもが
中学校を卒業するまで医療費の助成
を行うなど、安心して育てられる環
境を整えます。
小学校の余裕教室など既存施設を
改修し、放課後児童クラブを拡充し
ます。放課後の子どもの居場所づく
りを進める一方で、地元での就職を
可能とするため企業誘致活動に力を
入れ、働き続けることができる環境
を整備していきます。
がん検診や生活習慣病を予防する
特定検診を奨励し、一人一人が健康
について意識を高め、健康の維持・
増進に取り組める環境づくりを進め
ていきます。

生命と財産を守る
**市立恵那病院の再整備と
防犯、防災体制を充実**
市立恵那病院の再整備に合わせ産
婦人科開設の準備を進め、地域の医
療体制を充実させるとともに、応急
手当有資格者を育成し、急病やけが
などから命を救うことができる救急
体制の充実を目指します。
防犯では、高度化する犯罪への抑
止力として防犯カメラ設置を進め、
安全上、景観上日常生活に影響を及
ぼす空き家の実態調査を進めます。
また地区防災計画の推進を図るた
め、地域防災組織の育成・活動補助



▲恵那駅前広場に設置されている防犯カメラ

を行うとともに、雨量計を設置する
などとして防災体制・災害時対応能力
の充実を図っていきます。

一般会計の歳出を目的別に見る
と、民生費が27・3割を占め、続い
て衛生費が18・3割となっています。
民生費では、こども園の管理運営や
臨時福祉給付金の給付を行います。
また国民健康保険事業特別会計、介
護保険特別会計、後期高齢者医療特
別会計への繰入金などが増額してい
ます。衛生費は、市立恵那病院の再
目的別では民生費が全体の27%

整備事業への出資や健幸のまちづく
り推進事業費を計上しました。総務
費ではコミュニティセンターの改修
費用のほか、移住・定住推進事業費
や市長・市議会議員選挙費を計上し
ました。教育費では、武並小学校の
屋内運動場改築実施設計、山岡小学
校などの屋内運動場の非構造部材耐
震化工事や大井宿明治天皇行在所土
蔵解体工事を行います。消防費では、
消防ポンプ自動車を購入するほか、
岩村地区のヘリポート建設工事や上
矢作地区の消防器具庫の改修工事を
行い、商工費では、引き続き恵那峡
再整備事業や恵那西工業団地の整備
を推進します。
なお歳出総額280億5000万
円は、市民一人当たりで換算すると
53万5878円となります。

一般会計歳出を性質別に見ると、
義務的経費では公債費が平成25年度
から毎年度繰上償還を実施している
ため減額となり、扶助費は臨時福祉
給付金事業が拡大されたこと、障が
い者の自立支援給付などが増加して
いることから増額となりました。
投資的経費では、コミュニティセ
ンター改修工事、恵那峡再整備事業、
ケーブルテレビネットワーク幹線強
靱化工事、放課後児童クラブ設置促
進事業、こども園建設事業費、道路
改良工事など4・2割の増額となっ
ています。
病院事業会計では恵那病院再整備
事業により増加しており、市全体で
は増額となっています。

市民1人当たりの額(年間)

| 使われる金額 | 納める市税の額 |
|----------------------------|-----------------------------|
| 民生費 146,108円 | 固定資産税 64,126円 |
| 衛生費 98,025円 | 市民税 51,951円 |
| 総務費 69,158円 | 市たばこ税 7,103円 |
| 公債費 66,812円 | 都市計画税 5,271円 |
| 教育費 51,941円 | 軽自動車税 2,915円 |
| その他 103,834円 | その他 820円 |
| 合計 535,878円 | 合計 132,185円 |

※平成28年1月1日現在の住民基本台帳と外国人登録の人口52,344人で計算しています

まちの魅力を高める

伝統芸能などを通して
地域への誇りと愛着を醸成

森林整備では、森林の有する多面的な機能を持続的に発揮させるために、間伐事業や保全整備などを推進し、地籍調査事業は、新たに長島町久須見地区と笠置町影岩地区を加え15地区で事業を推進します。
平成27年度に着手した長島町正家地区の土地区画整理事業は、都市計画道路2路線の設計業務を行い、快適に暮らせる住居環境と商業施設の充実によるまち並み整備を進めてい



▲市内各地で伝承される芸能の裾野拡大を図る

また歴史的風致維持向上計画に基づき大井宿ポケットパークの設計を行い、中山道を中心としたまちづくり整備を進めるとともに、伝統芸能を発表する場を設けて伝統芸能に携わる者の裾野拡大を図ることで、地域への誇りと愛着を醸成していきま

便利に暮らす

バス路線維持など
生活の足の確保を支援

市道の改良では、東野地区の袖畑笠作線、長島地区の恵那西工業団地



▲計画的に改良が進む市道袖畑笠作線＝東野小学校近く

道路、中野方・飯地地区の飯地中野方線、串原地区の大竹松本線などの整備や住民の生活基盤となる生活道路の整備、維持修繕、橋りょう点検、交通安全対策などに取り組みんでいきます。

また引き続き各地域の生活の足を確保するため、バス運行に対する補助金を交付しバス路線の維持に努めるとともに、バス等公共交通機関が十分対応できていない地域に対して有償移送サービスの実現に向けて検討を行っていきます。

いきいきと暮らす

三学のまちを推進し
図書や学校教育などを充実

「恵那市三学のまち推進計画」の基本理念に基づき、恵那市立大学において、まちづくり活動の手法を学ぶ講座、大学連携講座、出前講座、各コミュニティセンターで行う市民講座などを開催します。中央図書館では図書購入の充実を図り、学校や各地区コミュニティセンターと連携して読書活動を支援します。

学校教育では、ICT教育や英語教育のモデル校をそれぞれ指定し、情報や情報手段を主体的に選択し活用していく能力やコミュニケーション能力の向上を図り、不登校・いじめ対策としてはアンケート形式の調



▲健幸都市宣言の下、運動機会の充実を図る

みんなでまちをつくる

地域の人口維持のため
移住や定住の促進を支援

地域の人口を維持していくために、移住や定住にかかる費用補助をし、地域と移住者をつなぐ支援員を置くなどし、恵那市に住み続けられ

イベントを開催し、交流人口の増加を目指します。



▲リニューアルが計画されるくしはら温泉ささゆりの湯

| 便利に暮らすための主な事業 | |
|-------------------|-------------------------|
| 事業の名称 | 予算額 |
| 国道事業など負担金の負担 | 3,300万円 |
| 主要市道の整備 | 3億1,659万円 |
| 基幹交通対策 | 2億2,737万円 |
| 地域交通網対策 | 50万円 27年度前倒し 1,070万円 |
| 買い物支援 | 230万円 |
| 道路橋りょうの維持管理 | 3億1,307万円 |
| 生活市道の整備 | 1億3,467万円 |
| 岩村統合簡易水道の建設（特別会計） | 1億0,670万円 |
| 上矢作簡易水道の建設（特別会計） | 1,440万円 |
| 公共奥戸処理区建設事業（特別会計） | 9,575万円 |



▲再整備に着手する道の駅ラ・フォーレ福寿の里（上矢作町）

| いきいきと暮らすための主な事業 | |
|-----------------|-----------|
| 事業の名称 | 予算額 |
| 高等教育の振興 | 740万円 |
| 小学校教育の振興 | 1億2,352万円 |
| 中学校教育の振興 | 8,435万円 |
| 歴史などの専門人材バンク | 14万円 |
| 読書習慣づくり | 138万円 |
| 三学のまちの推進 | 1,417万円 |
| 生涯スポーツの推進 | 693万円 |
| 地域スポーツの推進 | 1,552万円 |

とコミュニティセンターの機能を一つに集約し、生涯学習とまちづくり活動の拠点づくりを進め、各地域で策定した地域計画に基づき取り組む活動に対して助成をし、上矢作地区の道の駅再整備計画に基づく設計や笠置山のクライミングエリアへのトイレ設置など、地域のまちづくり活動を支援していきます。

まちを元気にする

恵那峡再整備などにより
交流人口増加を目指す

リニア関連では、恵那駅北側幹線道路や武並地区生活道路の概略設計や企業団地の検討などを行い、今後

| みんなでまちをつくるための主な事業 | |
|-------------------|----------------------------|
| 事業の名称 | 予算額 |
| 移住・定住の推進 | 1億5,334万円 |
| まちづくり市民活動の推進 | 1,299万円 |
| 地域の拠点形成 | 1,000万円 |
| コミュニティセンターの改修 | 4億1,420万円 |
| 笠周地域活性化振興 | 1,698万円 |
| 地域自治の推進 | 7,137万円 27年度前倒し 3,050万円 |
| 過疎地域活性化振興 | 2,680万円 |

| まちを元気にするための主な事業 | |
|-----------------|-----------|
| 事業の名称 | 予算額 |
| 農地の保全促進 | 3億2,400万円 |
| 担い手の育成 | 4,937万円 |
| 農産物振興 | 1,874万円 |
| 農業基盤の整備 | 1億2,201万円 |
| 畜産振興 | 3,687万円 |
| 林業基盤の整備 | 1億0,254万円 |
| 起業・恵那ブランドの育成 | 1億0,965万円 |
| リニアまちづくり事業 | 2,535万円 |
| 都市と農村の交流 | 89万円 |
| 観光PR | 4,432万円 |
| 観光資源の活用 | 2億8,041万円 |
| スポーツツーリズムの推進 | 1,931万円 |
| 地産地消の推進 | 197万円 |